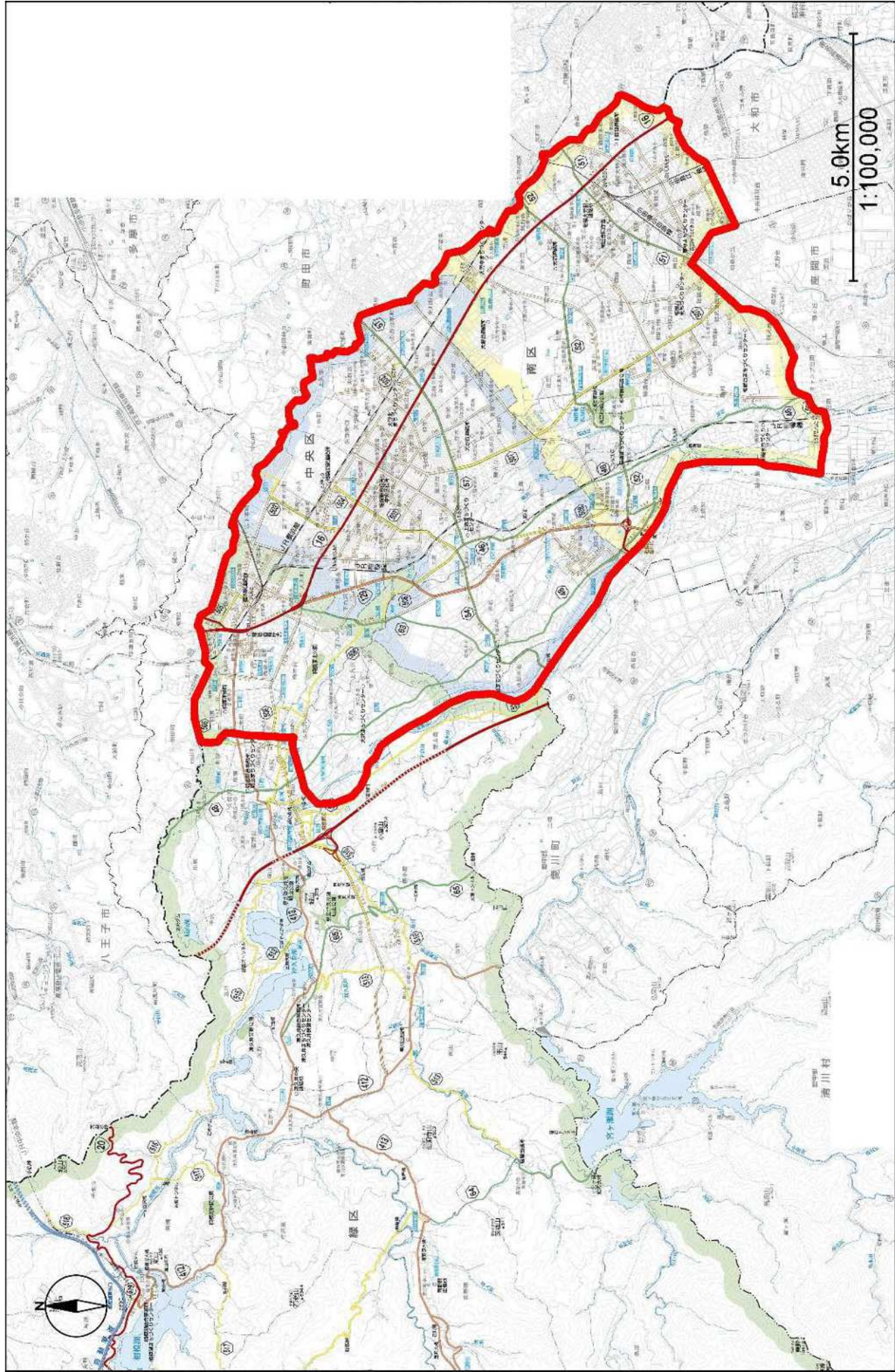


令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当初)	
設 計 書 番 号	年度 08
事 業 所 名	
(工 事 ・ 業 務) 名	公共下水道排水きょ等清掃・浚渫委託 (緑区・中央区その1)
(工 事 ・ 業 務) 箇 所	相模原市公共下水道区域内
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	
単 価 採 用 地 区 名	相模原
事 業 区 分	単費
工 期	契約日から 令和 09 年 03 月 19 日 まで
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	別紙内訳書のとおり (単価契約) 基準工種 : Φ250mm 閉塞区分 (A) 円 (消費税除く)
(起 工 ・ 変 更) 理 由	

令和 08 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)						
＜支出科目＞						
款						
項						
目						
目の細目						
節						
＜合併区分情報＞						
合併処理設定	しない					
	区分 1					
	区分 2					
	区分 3					
	区分 4					
	区分 5					
	区分 6					
	区分 7					
	区分 8					
	区分 9					
＜全体金額情報＞						
	当初官積算額 (a)	当初請負額 (b 1) 前回変更請負額 (b 2)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額 (d) = (b 1) / (a) × (c)	増減額 (d) - (b 1) or (b 2)	備 考
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 08 年度 積 算 諸 条 件 調 書 (当 初)				
経費等情報	主たる工種	清掃・巡視・点検・調査		
	施工地域・工事場所区分	大都市(2)		
	現場環境改善費計上区分(率分)	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	5%以下		
	契約保証の方法	金銭的保証		
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分	計上しない		
	下水道管路管理積算資料 適用年版	令和07年度 適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和08年5月1日 基準		
	週休割増補正区分	補正しない		
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員 (B) 昼間	38	人	
(その他情報欄)				
市が積算するにあたって使用した基準書等				
土木工事標準積算基準書(土木工事編) 相模原市都市建設局 令和7年7月1日				
下水道施設維持管理積算要領 2020年版				
下水道管路管理積算資料―2023― (R5.4.1適用)				
建設機械等損料表 令和7年度版 (一社) 日本建設機械施工協会				
※本委託は単価契約であることから、一般管理費率の算定における前払金の補正は行っていない。				

公共下水道排水管きよ等清掃・浚渫委託（緑区・中央区その1）
位置図



委託単価内訳書

(緑区・中央区その1)

工 種	種 別	予定数量	単位	施工単価	予 定 金 額	
◎ 2 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	171	m			円
◎ 2 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	150	m			円
◎ 2 5 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	4059	m			円
◎ 2 5 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	138	m			円
◎ 3 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	150	m			円
◎ 3 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 3 5 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	62	m			円
◎ 3 5 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 4 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	50	m			円
◎ 4 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 4 5 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	50	m			円
◎ 4 5 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 5 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	50	m			円
◎ 5 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 6 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	50	m			円
◎ 6 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 7 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)	50	m			円
◎ 7 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)	50	m			円
◎ 8 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 9 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 0 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 1 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 2 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 3 5 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 5 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 6 5 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 1 8 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
◎ 2 0 0 0 mm	閉塞区分 (5%)	50	m			円
ます・取付管清掃工	汚水ます・雨水ます	30	箇所			円
伏越し人孔清掃工		20	m ³			円
マンホールポンプ 清掃浚渫工		20	箇所			円
雨水吐室清掃工		1	回			円
越流堰清掃工		1	箇所			円
オフィス人孔清掃工		1	箇所			円
ポンプ 場土砂運搬工		1	回			円
浚渫工 (1)	開きよ	2	m ³			円
浚渫工 (2)	暗きよ	1	m ³			円
交通誘導警備員B	昼	38	人			円
予 定 委 託 価 格	(円止)					円
消 費 税	10%					円
予 定 委 託 費 計	消費税含む(円止)					円

委託設計単価換算率表

(緑区・中央区その1)

工 種	種 別	単 価	換 算 値 (%)
◎ 2 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		99.28
◎ 2 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		129.37
◎ 2 5 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		100.00
◎ 2 5 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		130.80
◎ 3 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		110.89
◎ 3 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		149.17
◎ 3 5 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		131.37
◎ 3 5 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		177.90
◎ 4 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		155.99
◎ 4 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		218.96
◎ 4 5 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		191.89
◎ 4 5 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		282.80
◎ 5 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		218.02
◎ 5 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		324.84
◎ 6 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		294.49
◎ 6 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		428.28
◎ 7 0 0 mm	閉塞区分 (A:20±5%)		377.90
◎ 7 0 0 mm	閉塞区分 (B:30±5%)		530.24
◎ 8 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		37.02
◎ 9 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		46.90
◎ 1 0 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		57.88
◎ 1 1 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		69.98
◎ 1 2 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		83.33
◎ 1 3 5 0 mm	閉塞区分 (5%)		105.61
◎ 1 5 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		111.87
◎ 1 6 5 0 mm	閉塞区分 (5%)		135.55
◎ 1 8 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		161.12
◎ 2 0 0 0 mm	閉塞区分 (5%)		199.62
ます・取付管清掃工	汚水ます・雨水ます		810.70
伏越し人孔清掃工			2,601.80
マンホールポンプ 清掃浚渫工			6,070.88
雨水吐室清掃工			21,870.28
越流堰清掃工			25,000.00
オリフィス人孔清掃工			3,582.20
ポンプ 場土砂運搬工			1,674.20
浚渫工 (1)	開きよ		1,998.49
浚渫工 (2)	暗きよ		2,300.15
交通誘導警備員B	昼		1,818.32

委託単価率計算表 (No.1)

(緑区・中央区)

R08

[illegible]

委託単価率計算表 (No.2)

(緑区・中央区)

R08

[illegible]

第0001号 下位内訳書
AMA0010 排水管きょ清掃・浚渫

1 式 当り
適用年版 T0805
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) Φ200 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0001号単価表
(SJ0020) Φ200 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0008号単価表
(SJ0030) Φ250 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0009号単価表
(SJ0040) Φ250 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0010号単価表
(SJ0050) Φ300 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0011号単価表
(SJ0060) Φ300 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0012号単価表
(SJ0070) Φ350 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0013号単価表
(SJ0080) Φ350 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0014号単価表
(SJ0090) Φ400 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0015号単価表
(SJ0100) Φ400 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0016号単価表
(SJ0110) Φ450 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0017号単価表
(SJ0120) Φ450 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0018号単価表
(SJ0130) Φ500 管きょ清掃工 閉塞区分 (A)	1	m			第0019号単価表
(SJ0140) Φ500 管きょ清掃工 閉塞区分 (B)	1	m			第0020号単価表

第0001号 単価表

SJ0010

Φ200 管きょ清掃工
閉塞区分 (A)

330 m 当り

適用年版 T0805

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0290) 高压洗浄車清掃工 D-1 揚泥車 4 t 使用	1	日			第0002号単価表
(SJ0330) 土砂運搬工 4 t 6 k m	1.106	m3			第0006号単価表
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0002号 単価表

SJ0290

高压洗浄車清掃工 D-1
揚泥車 4 t 使用

1 日 当り

適用年版 T0805

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0300) 高压洗浄車運転工 E-1 4 t 使用	1	日			第0003号単価表
(SJ0310) 揚泥車運転工 E-2 4 t 使用	1	日			第0004号単価表
(SJ0320) 給水車運転工 E-5 4 t 使用	1	日			第0005号単価表
(TJ0050) 水代	22.5	m3			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	日			整数止め切捨て 円/日

第0003号 単価表

SJ0300

高压洗浄車運転工 E-1
4 t 使用

1

日 当り

適用年版 T0805

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z006702002) 軽油		L			
	39				
(R0125) 土木一般世話役		人			
	1				
(R0101) 特殊作業員		人			
	1				
(R0114) 運転手(特殊)		人			
	1				
(TJ0010) 高压洗浄車 4t 147kw 200ps		時間			
	6				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		日			整数止め切捨て 円／日
	1				

第0004号 単価表

SJ0310

揚泥車運転工 E-2
4 t 使用

1

日 当り

適用年版 T0805

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z006702002) 軽油		L			
	45.6				
(R0101) 特殊作業員		人			
	1				
(R0115) 運転手(一般)		人			
	1				
(TJ0020) 揚泥車 4t 147kw 200ps		時間			
	6				
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)		式			
	1				
合 計					
		日			整数止め切捨て 円／日
	1				

第0005号 単価表

SJ0320

給水車運転工 E-5
4 t 使用

1 日 当り

適用年版 T0805

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z006702002) 軽油					
	34.8	L			
(R0115) 運転手(一般)					
	1	人			
(TJ0030) 給水車 4t 132kw 180ps					
	6	時間			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	日			整数止め切捨て 円／日

第0006号 単価表

SJ0330

土砂運搬工
4 t 6 k m

1 m3 当り

適用年版 T0805

(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0340) 揚泥車運搬工 E-13 4 t 使用					第0007号単価表
	0.41	時間			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	m3			整数止め切捨て 円／m3

第0007号 単価表

SJ0340

揚泥車運搬工 E-13
4 t 使用

1

時間 当り

適用年版 T0805

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z006702002) 軽油					
	7.6	L			
(R0115) 運転手(一般)					
	0.17	人			
(TJ0020) 揚泥車 4t 147kw 200ps					
	1	時間			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	時間			整数止め切捨て 円/時間

第0008号 単価表

SJ0020

Φ200 管きよ清掃工
閉塞区分 (B)

255

m 当り

適用年版 T0805

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0290) 高压洗浄車清掃工 D-1 揚泥車 4 t 使用					第0002号単価表
	1	日			
(SJ0330) 土砂運搬工 4 t 6 k m					第0006号単価表
	1.517	m3			
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)					
	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0009号 単価表

SJ0030

Φ250 管きょ清掃工
閉塞区分 (A)

330

m 当り

適用年版 T0805

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0290) 高压洗浄車清掃工 D-1 揚泥車 4 t 使用	1	日			第0002号単価表
(SJ0330) 土砂運搬工 4 t 6 k m	1.73	m ³			第0006号単価表
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

第0010号 単価表

SJ0040

Φ250 管きょ清掃工
閉塞区分 (B)

255

m 当り

適用年版 T0805

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0290) 高压洗浄車清掃工 D-1 揚泥車 4 t 使用	1	日			第0002号単価表
(SJ0330) 土砂運搬工 4 t 6 k m	2.369	m ³			第0006号単価表
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	m			整数止め切捨て 円/m

登 録 単 価 一 覧 表

[illegible]

公共下水道排水管きょ等清掃・浚渫委託仕様書

第1章 総則

1 適用範囲

この仕様書は、公共下水道施設等の清掃・浚渫業務及び当該施設からの下水道汚泥等の収集、運搬業務に適用する。

2 協議事項

本仕様書及び図面に明記されていない事項及び業務の施工の細目については、監督員及び受注者との協議により決定する。

3 法令等の遵守

- (1) 業務の遂行にあたっては下水道法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及びその他関係諸法規を遵守すること。
- (2) 業務の円滑な進捗を図るため諸法令の運用適用は受注者の責任において行うこと。

4 提出書類

- (1) 受注者は、契約締結後、契約書に定める書類のほかに次の書類を提出すること。

ア 業務計画書

イ 現場代理人及び主任技術者届

ウ 現場代理人経歴書

エ 主任技術者経歴書

- (2) 受注者は、契約書に定める業務完了届（指示部分完了払い用）には、次の書類を添付すること。

ア 清掃・浚渫精算内訳書 1 式

イ 業務記録写真（原則として施工前・施工中・施工後） 1 式

ウ 業務施工箇所図 1 式

エ 産業廃棄物マニフェスト B 2 票

5 現場体制

- (1) 受注者は、技術及び経験を有する主任技術者を現場に常駐させて、所定の業務に従事させること。
- (2) 受注者は、善良な作業員を選び、秩序正しい作業を行わせるとともに、かつ熟練を要する作業には、相当の経験を有する者を従事させなければならない。
- (3) 受注者は、適正な作業の進捗を図るとともに、そのために十分な数の作業員を配置すること。

6 周辺住民との協調

- (1) 受注者は、作業にあたり周辺住民等に作業内容を説明し理解を求めること。
指示事項以外の要望等があったときは、監督員に申し出て指示を受けること。
- (2) 受注者は、いかなる理由があっても、周辺住民から報酬又は手数料等を受けてはならない。作業員等についても、上記行為の内容について十分監督指導をすること。
- (3) 使用人等が、前項の行為を行ったときは、受注者がその責任を負うこと。
- (4) 作業の都合上、祝日又は休日、夜間に作業を実施する場合は、あらかじめ監督員の承諾を得るとともに周辺住民等の理解を得ること。

7 損害賠償及び補償

- (1) 受注者は、公共下水道施設等に損害を与えたときは、直ちに監督員に報告し、その指示を受けるとともに速やかに原形に復旧すること。
- (2) 受注者は、作業にあたり万一注意義務を怠ったことにより第三者に損害を与えたときは、その復旧及び賠償の全責任を負うこと。

第2章 安全管理

1 一般事項

- (1) 受注者は、公衆災害、労働災害及び物損等の未然防止に努め、「労働安全衛生法」、「酸素欠乏症等防止規則」及び「建設工事公衆災害防止対策要綱」等の定めるところに従い、その防止に必要な措置を十分に講ずること。
- (2) 作業中は、気象情報に十分注意を払い、豪雨出水、地震等が発生した場合には、直に対処できるような対策を講じておくこと。
- (3) 事故防止を図るため、安全管理については、受注者の責任において実施すること。

2 安全管理

- (1) 受注者は、作業に従事するものに対して定期的に当該作業に関する安全教育を行い、作業員の安全意識の向上を図ること。
- (2) 受注者は、厚生労働省令で定める酸素欠乏症等に係る業務について特別教育を行うこと。

3 労働災害防止

- (1) 現場の作業環境は、常に良好な状態に保ち、機械器具その他の設備は常時点検して、作業に従事する者の安全を図る。
- (2) マンホール、管きょ等に出入りし、又はこれら内部で作業を行う場合は、厚生労働省令で定める酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者の指示に従い、酸

素欠乏空気、有害ガス等の有無を作業開始前と作業中は常時調査し、換気等事故防止に必要な措置を講ずるとともに、呼吸用保護具等を常備すること。

なお、酸素及び硫化水素の測定結果は、記録、保存し監督員が提示を求めた場合はその指示に従うこと。

- (3) 作業中、酸素欠乏空気や有害ガス等が発生した場合は、直ちに必要な措置を講ずるとともに、監督員及びその関係機関に緊急連絡を行い、その指示により適切な措置を講ずること。
- (4) 資格を必要とする諸機械を取扱う場合は、必ず有資格者をあて、かつ、誘導員を配置すること。

4 公衆災害防止

- (1) 作業中は、作業現場周辺の居住者及び通行人の安全並びに交通、流水等の円滑な処理に努め、現場の保安対策を十分講ずること。
- (2) 夜間作業には十分な照明及び保安灯を施し、通行人及び車輛交通等の安全確保に努めること。
- (3) 作業に伴う交通誘導員及び保安対策は、関係官公署の指示に従い、適切に行うこと。
- (4) 作業区域内において、交通安全確保の必要性が生じた場合は、第三者にわかるように交通誘導員を配置し、通行の誘導、整理を行うこと。

5 その他

- (1) 万一事故が発生したときは、緊急連絡体制に従い、直ちに監督員及び関係官公署に報告するとともに、速やかに必要な措置を講ずること。
- (2) 前項通報後、受注者は事故の原因、経過及び被害内容を調査の上その結果を書面により報告すること。

第3章 清掃・浚渫作業

1 一般事項

- (1) 作業のための道路交通等の制限の手続きは、受注者において所轄警察署に事前に届け出て許可を取り、その許可条件を厳守すること。
また、その許可証の写しを監督員に提出すること。
- (2) 作業にあたっては、管口を傷めないようガイドローラー等を使用し、必要な保護措置を講じ、公共下水道施設等に損傷を与えないように十分留意すること。
- (3) 作業終了時において、作業現場付近を十分に清掃し、公共下水道施設等及び通行に支障のないようにすること。また、速やかに使用機器、仮設物等を搬出すること。

- (4) 受注者は作業を実施する前にあらかじめ当該委託に係る運搬または処分が行われる施設の状況及び必要な事項に対して、実地確認を受けること。

2 清掃・浚渫作業

- (1) 作業箇所は、委託指示書（指示部分）により通知し、その指示期限内に委託を完了させるものとする。なお、指示については概算数量のため、清掃・浚渫精算内訳書に基づき委託費の精算を行うものとする。
- (2) 作業箇所は原則、設計書表紙記載の業務箇所とするが、緊急時はこの限りではない。
- (3) 作業時間は、所轄警察署の道路使用許可条件を厳守すること。

3 下水道汚泥等の収集・運搬

- (1) 収集・運搬する産業廃棄物の種類
種 類 産業廃棄物 下水道汚泥，廃プラスチック類
- (2) 産業廃棄物の最終運搬先
産業廃棄物の最終運搬先（中間処分場）は、別途契約する「公共下水道産業廃棄物処理処分委託」にて契約した事業所とする。
- (3) 収集・運搬した産業廃棄物の完了
受注者は、清掃・浚渫後の産業廃棄物の収集・運搬が完了した場合、必ず「産業廃棄物マニフェスト」に必要事項を記載するとともに押印し、B 1 票、C 2 票を保管する。また、B 2 票を監督員に返送すること。
- (4) 収集した産業廃棄物の保管
受注者は、収集した産業廃棄物を一時保管する場合は、県知事より許可を受けた種類及び所在地にて保管すること。
- (5) 委託契約を解除した場合の処理されない産業廃棄物の取扱い
受注者は、契約解除になった場合において、委託指示済の施設から発生した産業廃棄物については、受注者の責任と費用において処理すること。

4 異状時の処置

- (1) 作業が困難な状態になったときは、直ちに監督員に報告し、指示を受けること。
- (2) 委託指示箇所に、損傷、不当沈下及び腐食の異状を発見したときは、速やかに監督員に報告するとともに、異状箇所報告書（位置図・異状写真）を提出すること。

第4章 検査

- 1 委託指示部分の業務が完了した時は、速やかに業務完了届（指示部分完了払い用）を提出し検査を受けなければならない。

第5章 その他

1 特殊工種の取扱いについて

(1) 類似工種の適用

契約以外の工種であっても、その工種規模が比較的軽微で作業内容が類似し、費用も同等と判断される場合は、類似工種として取扱い施工することができる。

(2) 特殊工種の適用

類似工種の適用を行うことが困難な工種を施工する場合及び管きょ浚渫において、閉塞区分が契約工種と著しく異なる場合等においては、契約工種の中で類似する工種を選択し、特殊工種として取扱い、次の方法で処理する。

ア 特殊工種の必要性を確認し、内容及び数量を把握する。

イ 特殊施工単価を作成する。

ウ 特殊施工単価を類似する工種の施工単価に換算する。

特殊施工単価/工種施工単価＝工数

エ 工種別出来高数量計算書に計上

2 施工数量の数値基準について

(1) 計算書は小数点以下2位(3位切捨て)とする。

(2) 内訳書は小数点以下2位(3位切捨て)とする。

3 精算金額について

各工種別の施工数量に、各工種別の契約単価を乗じて得た金額を小数点第2位止めとし、各工種の合計した金額を円止めした額に消費税を加えた金額とする。

4 単価見積条件の明示

(1) 入札価格

入札価格は、契約単価算出表の基準工種「φ250mm閉塞区分(A)」の経費を含んだ1m当りの単価(但し、消費税を除く)とする。

(2) 市積算における参考事項

市の積算における考え方は、1現場当りの業務量(委託料)を50万円(消費税含む近似値)とし、(1)の基準工種についての積算となっている。なお、本委託の業務量等を拘束するものではない。

(3) 契約の方法

この契約は、単価契約とする。

各工種の単価は、基準工種の入札価格を100%として、委託設計単価換

算率表の比率により算出し円止めとする。

また、契約にあたって契約保証金の納付が必要になる場合は、概算設計金額（消費税を含む。）に落札率を乗じて得た金額（以下「発注上限額」という。発注上限額は万円止めとします。）の10分の1以上の契約保証金を納付し、契約単価表を付して契約を行うもの。

なお、発注上限額は指示の限度額であり、確定金額では、ありません。そのため、本市の都合により、指示書に基づく契約金額の合計額が発注上限額に満たない場合が生じても、異議の申出又は損害賠償の請求することはできないものとする。

4 特に定めない事項

契約書、仕様書及び設計図書に特に明示されていない事項で、作業上必要なものは、受注者の負担において処理すること。

5 環境配慮事項

- (1) 「相模原市環境方針」の主旨を理解し、業務を行うこと。
- (2) 市への提出書類及び添付資料については、原則として再生紙を使用すること。
- (3) 業務実施時に車両を使用する場合は、アイドリングストップの実施を徹底し、他者に運搬等を委託する場合においても、アイドリングストップの実施を周知するように努めること。
- (4) 業務の実施においては、廃棄物の減量化・資源化に取り組むとともに、廃棄物の処理にあたっては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、条例、相模原市一般廃棄物処理実施計画及び関係法令を遵守し、適正に処理すること。

局地的な大雨に対する安全対策共通特記仕様書

第1 適用

本特記仕様書は、局地的な大雨に対する作業環境の安全性の確保について規定するものであり、下水道管渠等^{※1}において、入坑作業中に急激な雨水の流入により作業員に危険を及ぼす恐れがある工事等^{※2}に適用する。

※1「下水道管渠等」とは、下水道管渠、マンホール及び雨水調整池等の下水道施設をいう。

※2「工事等」とは、工事、点検、調査及び清掃業務をいう。

本特記仕様書に定めのない詳細な事項については、「局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策の手引き(案)(平成20年10月 局地的な大雨に対する下水道管渠内工事等安全対策検討委員会)」によるものとする。

なお、本特記仕様書にのっとり、気象情報等収集のために特別に設置した雨量計、水位計（その周辺機器、通信回線利用料等関連経費を含む）及び作業の中断により発生した工期変更については、協議に基づき適切に措置する。

第2 安全管理計画の施工計画書等への明記

受注者は、局地的な大雨による増水に備えるため、施工計画書又は業務計画書を作成する際には、次に掲げる事項を安全管理計画として記載し、その内容について、作業員への周知徹底を図ること。

- (1) 現場特性の事前把握
- (2) 作業の中止基準、開始・再開基準及び警戒区域^{※3}の設定
- (3) 迅速に退避するための対応
- (4) 日々の安全管理の徹底

※3「警戒区域」とは、下水道管渠等に入坑している作業員が、局地的な大雨による急激な増水に備えて、迅速に退避するための準備行動を取るために、受注者が作業箇所を中心とした一定の範囲内における降雨の状況について警戒を行う区域をいう。

第3 現場特性の事前把握

受注者は、工事等に着手する前に、作業箇所に係る集水範囲、雨水の流達時間等の下水道施設情報に関する資料、地形情報、浸水被害等の既往情報を収集・分析し、急激な増水による危険性等をあらかじめ十分に把握するとともに、作業員への周知徹底を図ること。

第4 作業の中止基準、開始・再開基準及び警戒区域の設定

受注者は、局地的な大雨に対する安全対策として、作業の中止基準、作業の開始・

再開基準及び警戒区域を設定すること。この場合においては、次に掲げる事項を踏まえるとともに、退避に要する時間等の現場特性を考慮すること。

(1) 作業の中止基準

①当該作業箇所又は上流部等※⁴に降雨又は雷が発生した場合

②当該作業箇所又は上流部等に洪水又は大雨の注意報又は警報が発令された場合

※⁴「上流部等」とは、原則として、当該作業箇所に係る上流部の集水範囲をいう。ただし、その規模によって作業員全員が退避する時間を確保できない恐れがある場合は上流部等の範囲を拡大することとし、工事等の期間が1か月未満の場合又は当該作業箇所に係る上流部の排水区域が1か月未満で変更となる場合は当該作業箇所に係る上流部の集水範囲が属する行政区を上流部等とみなすものとする。

(2) 作業の開始・再開基準

①当該作業箇所又は上流部等に降雨又は雷が発生していないこと、かつ、洪水又は大雨の注意報又は警報が発令されていないこと。

②当該作業箇所の水位を計測し、事前の調査に基づく通常水位であること。

(3) 警戒区域の設定

警戒区域は、迅速な退避が行えるよう当該作業箇所を中心に原則半径10km以上の範囲とし、退避ルート上に支障物が無いかの確認や資機材等の流出防止対策等の警戒作業に要する時間を十分考慮した区域を設定すること。

第5 迅速に退避するための対応

受注者は、作業に着手する前に作業員が安全かつ迅速に退避できるように、あらかじめ次に掲げる事項について定めておくこと。

(1) 下水道管渠等での作業を行っている間は地上監視員を常時配置し、当日の天気予報や雨雲の動き等の気象情報を収集すること。警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した場合は作業員にその旨を確実に伝達するとともに継続的に降雨又は雷の状況を監視し、中止基準に該当した場合には同様に作業員に伝達すること。

(2) 民間気象会社等がリアルタイムに気象情報を自動配信（プッシュ型配信アプリ等）するサービスを活用し、上流部等及び警戒区域においては、降雨又は雷の発生情報を収集できる体制とすること。また、上流部等の外縁部には、雨量計を現場特性を踏まえて設置し、設置箇所の降雨の情報を収集できる体制とすること。ただし、工事等の期間が1か月未満の場合又は当該作業箇所に係る上流部の排水区域が1か月未満で変更となる場合においては雨量計の設置を要しないものとする。

(3) 当該作業箇所の水位変化を監視するとともに、上流部等の主要な管渠の水位の変化を把握できるよう当該作業箇所から1km上流の箇所に水位計を設置し、その結果を自動配信するシステムの設置に努めること。

(4) 現場条件、作業員数等を考慮した上で、作業箇所ごとに事前に作業延長の起点から終点まで、管内における段差、工作物その他退避に支障となる事項の有無を

確認し、安全かつ迅速に地上に退避できるルートを設定すること。また、不測の事態に備え原則複数設定すること。また、退避方法について、作業に着手する前及び作業着手後に月 1 回以上、安全教育の一環として、代表的な作業箇所（最長又は管内の支障物が多い作業箇所）を選定し、実際の作業環境に応じた退避訓練を実施するとともに、退避手順、情報伝達の確実性及び想定している退避時間を実地検証すること。足場を組むなど作業環境を変更した場合（工事等の期間が 1 か月未満の場合又は当該作業箇所に係る上流部の排水区域が 1 か月未満で変更となる場合は、この限りでない。）も同様に実地検証すること。

- （5）地上監視員から入坑している作業員への情報伝達機器は、内容が確実に伝わるよう複数の手段を確保するとともに、警報音付回転灯等の音声による伝達機能を持たない機器については使用基準及び行動基準を具体的に定めること。また、作業の開始に当たっては機器の動作確認を行うこと。
- （6）地上監視員から警戒区域内に降雨又は雷の発生情報を確認した旨の伝達があった場合には、入坑している作業員は退避行動に備え、退避ルート上の支障物が無いかを確認し、使用していない資機材等の流出防止対策等を講ずること。
- （7）地上監視員から作業の中止の伝達があった場合には、人命を最優先とし、入坑している作業員は資機材を存置し、直ちに退避すること。
- （8）急激な増水に備え、現場特性に応じて親綱、救助用ロープ、縄梯子、救命胴衣等の救命・救助器具を適切な場所に設置又は携帯すること。また、各作業日の作業開始前には救命・救助器具等の設置等の状況確認を行うこと。

第 6 日々の安全管理の徹底

受注者は、日々の安全管理に当たり、次に掲げる事項について徹底すること。

- （1）受注者は、市が開催する下水道工事固有のリスクを踏まえた安全講習及び気象に関する講習を受講するなど、安全管理に関する知識及び技術を習得し、危機管理意識の向上に努めること。
- （2）作業当日の朝礼、KYK（危険予知活動）等において、気象情報及び各種リスク情報を作業員全員に共有するとともに、作業の中止基準や退避ルート等の周知徹底を図ること。
- （3）下水道管渠等に持ち込む資機材は必要最小限にするとともに、作業終了時に存置する資機材等については流出防止対策を講じておくこと。

附 則

本特記仕様書は、令和 7 年 4 月 1 日から適用する。

附 則

本特記仕様書は、令和 8 年 4 月 1 日から適用する。

相模原市ウィークリースタンス特記仕様書

(目的)

第1条 労働時間の上限規制やワークライフバランスの推進などの働き方改革を踏まえ、公共工事及び公共工事に係る委託業務を円滑かつ効率的に進めるために、一週間における受発注者間相互のルールやスタンスなどを目標として定め、計画的に履行することにより労働環境の改善を行い、工事目的物及び成果品の品質確保・向上及び担い手の育成・確保を図る。

(取組の内容)

第2条 発注者は、以下の項目を例として受注者と取り組む内容を確認及び調整の上、設定する。

- (1) 月曜日（休日明け）を依頼の期限日としない
- (2) 水曜日は定時の帰宅に心掛ける
- (3) 土・日曜日に休暇が取れるよう金曜日には依頼しない
- (4) 昼休みや午後5時以降の打合せをしない
- (5) 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない
- (6) 16時以降の現地立会を行わない
- (7) 作業内容に見合った作業期間を確保する
- (8) その他、任意に設定する

(運用方法)

第3条 発注者は契約後の初回打合せ時に、前条各号の内容について受注者と取り組む内容を確認し設定する。

2 受注者は前項の規定により設定した内容を施工計画書又は業務計画書に記載する。

附 則

この仕様書は、令和6年7月1日から施行する。